

## 動物検疫所について

動物検疫所は、外国から輸入される動物や畜産物などから、動物の病気あるいは動物から人に感染する病気が日本国内に侵入することを防ぐために、輸出入時の検査を行っているところです。

## 検疫探知犬について



日本に到着後、手荷物を受け取るところで、ビーグル犬を見かけることがあると思います。このビーグル犬は検疫探知犬で、手荷物の中に肉製品などが



入っていないかを調べています。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

### お問い合わせ先

横浜本所	☎045-751-5923
北海道・東北支所	☎0123-24-6080
成田支所	
(旅具検疫第1課：第1ターミナルビル)	☎0476-32-6664
(旅具検疫第2課：第2ターミナルビル)	☎0476-34-2342
(旅具検疫第3課：第3ターミナルビル)	☎0476-34-4260
羽田空港支所	☎03-5757-9752
中部空港支所	☎0569-38-8577
関西空港支所	☎072-455-1956
神戸支所	☎078-222-8990
門司支所	☎093-321-1116
沖縄支所	☎098-861-4370

動物検疫所ホームページ

<http://www.maff.go.jp/aqs/>

2018年8月作成

ヨーロッパへ旅行される皆様へ  
動物検疫所からのお知らせ

ヨーロッパからの肉、ハム、ソーセージなどの

**肉製品の  
持ち込みに注意**

～安心して旅の思い出を持ち帰るために～



**MAFF** 動物検疫所  
農林水産省 ANIMAL QUARANTINE SERVICE

海外に旅行した際、お土産として、お肉やソーセージなどの肉製品を持って帰りたいと思うことがありますよね。皆様が安心してお土産を持って帰ることができるよう、事前にこのパンフレットをご覧ください。

Q 今度、ヨーロッパに旅行に行きます。そのお土産として、ハムやソーセージなどを日本に持ち帰りたいのですが、どうすればいいのでしょうか？

検査が必要な肉、ハム、ソーセージなどの肉製品を外国から持ち込む場合は、輸出国政府機関発行の検査証明書が必要です。

しかしながら、ヨーロッパでは、日本向け検査証明書が添付されて販売されているものがほとんどなく、**日本への持ち込みは困難です。**



Q 動物検査が必要なものは何ですか？

牛、豚などの偶蹄類の動物、鶏などの家きんなどの肉製品や加工品などが動物検査の対象となっています。詳しくは右側をご覧ください。また、チーズは動物検査の対象ではありませんが、そのなかに肉、ハム、ソーセージなどの肉製品が含まれている場合は、動物検査の対象となります。

Q 免税店で売られているものであれば、持ち込むことができますか？

免税品店の販売員から日本へ持ち込みできると言われたものであっても、検査証明書がない肉、ハム、ソーセージなどの肉製品は**日本に持ち込むことはできません。**



### 動物検査が必要なもの

- ① 偶蹄類の動物  
(牛、豚、いのしし、羊、山羊、鹿、トナカイなど)
- ② 馬科の動物 (馬、ロバなど)
- ③ 家きん (鶏、うずら、きじ、ダチョウ、ほろほろ鳥、七面鳥、あひる・がちょうなどのかも目の鳥類)
- ④ うさぎ、みつばち
- ⑤ 犬

①から⑥の肉、臓器、ハム・ソーセージ・ベーコン、骨、角、皮、毛、羽毛、卵、生乳、糞などやこれらの加工品

**注意！** 現在、ヨーロッパで鳥インフルエンザの発生が確認されています。

このため、鳥インフルエンザ発生地域からの鶏、あひる、がちょうなどの家きんの肉製品については、**日本に持ち込むことはできません。**

また、動物検査所では、日本到着時に靴底の消毒を行っていますので、ご協力よろしくお願ひします。

